

1. 子ども会ってなに？

子ども会とは、子どもたちのための、子どもたちだけで運営する組織です。未就学3年前から中学3年生までが対象の、地域内の異年齢集団です。

1. 子ども会の必要性

「今の時代に子ども会なんていないんじゃないか」「子ども会活動も曲がり角にきているのではないか」というような声を時々耳にします。確かに、戦前から発展してきた子ども会は、寺子屋型から学校を中心とした学校型の子ども会となり、さらに戦後はPTA型から地域密着型の子ども会が文部省(現文部科学省)によって推奨され、その活動の形態が大きく様変わりしました。

社会情勢も変化し、豊かな世の中になりましたが、核家族化や少子化、また安全面の問題もあって、近所づきあいも希薄になり、子どもたちどうしの関係も遊び方も変わりました。

だからこそ今、子ども会が必要なのです。同じ地域の子どもたちが学年をこえて仲よく、元気よく遊ぶきっかけづくりは子ども会が担っているのです。子ども会の活動を通して、大人も子どもも、みんなの顔がわかる連帯感のある地域づくりが、安全な明るい社会へとつながっていくのではないのでしょうか。

2. 子ども会のねらい

子ども会は就学3年前から中学3年生までを対象としていますが、今はほとんどが小学生だけで構成されています。

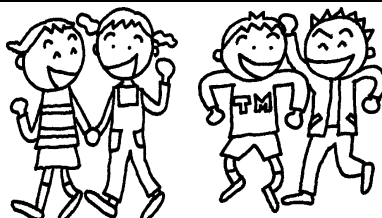
子どもたちは、自分たちで話し合いながら計画を立て、仕事を分担して活動します。

そのなかで高学年の子どもは低学年の子どもの手助けをし、低学年の子どもは高学年の子どもの姿からさまざまなことを学びます。子ども会には、異年齢の子どもたちがお互いに協力しあうことで、豊かな心を育み、たくましい体を培い、そして学校のなかだけでなく、地域のなかで活動することで、社会の一員としての規範を自然に身に付けていくという重要なねらいがあるのです。

3. 子ども会の活動

子ども会の活動はそれぞれの地区によって行事の内容や実施方法が異なりますが、ここに、よく行われているものを紹介します。

社会活動	新入生を迎える会・交通安全教室・公園や町内の清掃 資源回収・卒業生を送る会
スポーツ・レクリエーション活動	キャンプ・学区民運動会・ハイキング・球技大会
文化活動	音楽鑑賞会・クリスマス会・人形劇・餅つき大会 凧揚げ大会・ひなまつり
科学活動	自然観察会・天体観測会
体験活動	伝承あそび・芋掘り会・高齢者との交流会



4. 子ども会の会則

子ども会の会則は、子どもたちが自主的に活動するために必要な約束や目標について、子どもたちが主体となって決めることが重要です。育成者が一緒につくる場合でも、子どもたちとよく話し合い、わかりやすく、自分たちの会則として自覚がもてるようにしましょう。

(例)〇〇町内会〇〇子ども会会則

- 1 私たちの子ども会は〇〇子ども会といいます。
- 2 私たち子ども会は〇〇に住んでいる小学生・中学生でつくります。
- 3 私たちは、お互いに助け合って、毎日の生活を楽しく、よいものにしていきます。
- 4 私たちの子ども会は、次のことを行います。
 - ①みんなで遊び、じょうぶな体をつくります。
 - ②お互いに力をあわせて仲良くし、助け合います。
 - ③他人にめいわくをかけず、人のためになることをします。
- 5 私たち子ども会には次の役員をおきます。

会 長	1 名	子ども会のことをまとめます
副会長	2 名	会長を助けます
書 記	1 名	会の記録をとります
会 計	1 名	会のお金をとりあつかいます
班 長	各班 1 名	班のまとめや連絡をします
- 6 子ども会のことは〇〇子ども会育成会にれんらく、そうだんします。

この会則は 年 月 日からまもります。

5. 子ども会と子ども会育成会の役割

子ども会の組織は、子どもたちが自ら進んで活動できる仕組みになっていなくてはなりません。会則を決めて役員をおき、組織としてしっかりとする必要があります。

しかし、子どもたちの手で活動させたいとはいっても、まだ心身ともに発達途上にある子どもたちは、判断力や経験が足りないため、大人の理解と協力が不可欠です。そこで、子ども会の運営に関わる育成会が、できるだけ子どもたちの自主性を尊重しながら援助し、最終的に子ども会としての団体活動の責任を負います。

6. 子ども会と子ども会育成会の組織

